平成27年度いばらき輝く教師塾　第５日

学級で気になる子供たちへの支援の実際

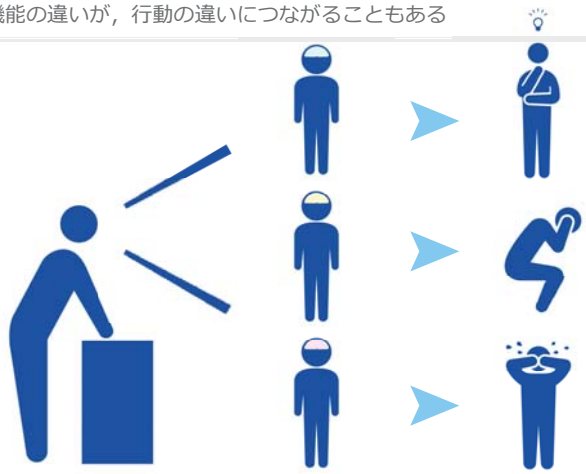
一方で…

家庭環境等に大きな困難は見当たらないが，
「気になる」行動をする子供たちもいる…

そうした子供の行動の背景には，
何があるのだろうか…？

脳の情報処理の仕方によって，
見え方や聞こえ方が変わってくる。

脳機能の違いが，行動の違いにつながることもある



「学級で気になる子供」の行動の背景にあるもの

生まれながらの脳機能の違い

見え方，聞こえ方，感じ方の違い

「学級で気になる子供」の行動

ということもある…

「学級で気になる子供」の行動の背景にあるもの

生まれながらの脳機能の違い

**小さな音や動きに敏感で
無視できない**

**他のことが気になって，
教師の話を最後まで聞けない**

発達障害

生まれながらの脳機能の違いが背景にある
「学級で気になる子供」

▼

発達障害の可能性

自閉症（ＡＳＤ，広汎性発達障害，アスペルガー症候群，自閉症スペクトラム）

自然に決まっているルールを察知することが苦手

ことばやふれあいを通したコミュニケーションをとることが苦手、曖昧な表現が分からない、相手の気持ちを読み取りにくい

漠然とした空間や時間の把握が苦手

視覚的な世界を強くもっている

特定のものや事柄にこだわる、予期しない変化が苦痛

様々な感覚にかたよりがある

注意欠陥多動性障害（ADHD）

不注意
話を聞いていないように見える
最後まで課題をやり遂げられない
精神的努力の持続が必要な課題を避ける
無くし物、忘れ物が多い
外からの刺激にすぐに気がそれる

多動性
静かにじっとしていられない
しゃべりすぎる

衝動性
待てない　「つい」やってしまう

学習障害（ＬＤ）

知的発達の遅れがないにも関わらず，**聞く，話す，読む，書く，計算する，推論するなどの特定の能力を学んだり，行ったりすることに著しい困難を示す**障害

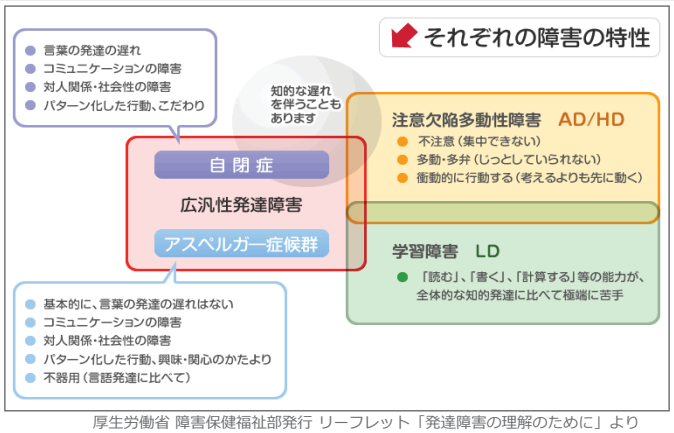
指示の飲み込みの速度が遅い

語彙が少なく，友達と上手にコミュニケーションがとれない

特定の活動を何度やっても理解できない

表情の変化を読み取ることが苦手

発達障害



厚生労働省 障害保健福祉部発行 リーフレット「発達障害の理解のために」より

知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒の割合

6.5%

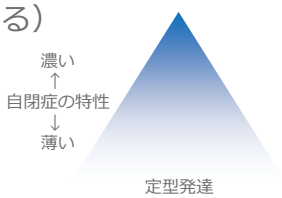
約68万人（推計）

通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある
特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査（平成24年）

発達障害は見えにくい

外見からは違いが分かりにくい

発達障害のある子供とそうでない子供との間に明確な境界線はない
（状態には連続性がある）



「学級で気になる子供」は・・・

ふざけていません！ 怠けていません！

▼

努力やがんばりには限界がある。

「学級で気になる子供」への関わり方

注意　　叱責

▼

改善しないか，むしろ逆効果なことが多い

「学級で気になる子供」への関わり方

背景にある困難さ（生まれながらの脳機能の違い）に思いをはせ，子供のペースとこだわりを尊重しながら，当たり前のことでも，伝え，教え，そして褒める。

もちろん，毅然とした対応が必要な時もあるが，伝え方の工夫　は必要！

診断名がなくても支援はできる。

「学級で気になる子供」を支援するために

背景にある困難さ（生まれながらの脳機能の違い）に思いをはせ，子供のペースとこだわりを尊重しながら，当たり前のことでも，伝え，教え，そして褒める。

▼

特別支援教育を学んで欲しい

子供の多様な学び方を生かした実践例

ヒントカードの活用

宿題の個別化

ＩＣＴの活用

学びのユニバーサルデザイン（ＵＤＬ）

『学び合い』

・
・
・

「不公平を生む」「特別扱いできない」
「ずるをしている」という感覚

そろえることを重視するあまり，他の子供たちと違うことをするのを認めることへの抵抗感

入試
・
・
・

真の不公平は，見かけの平等にこだわり，
子供の学びを保障しないこと

子供の多様な学び方を認める＝**合理的配慮**

自身の教育観の見直しが必要なことも…

「偉大な芸術家や科学者は，自閉症の特性の一部，またはすべてを備えている」

ローナ・ウィング
イギリスの精神科医：自閉症研究のフロンティア

共生社会

誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、
人々の多様な在り方を相互に認め合える
全員参加型の社会

中教審初等中等教育分科会「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」より

背景にある困難さ（生まれながらの脳機能の違い）に思いをはせ，子供のペースとこだわりを**尊重**しながら…

子供たちの価値を認め，
高められる先生になって欲しい。